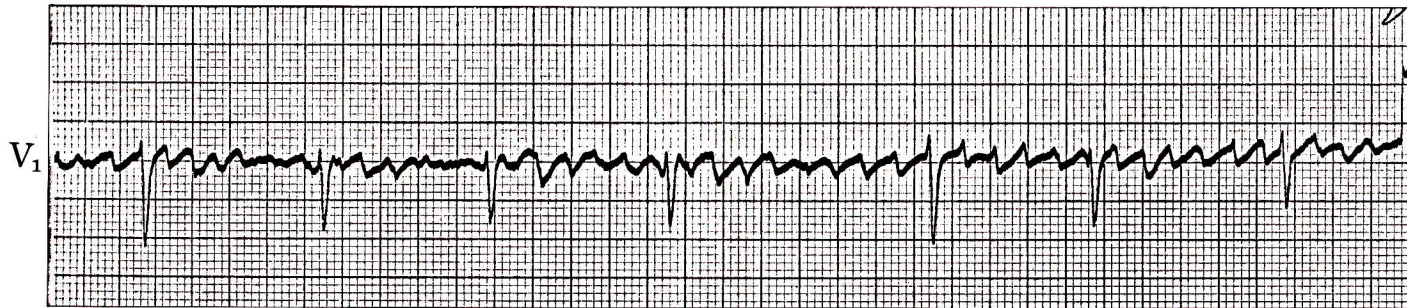


症例 24

●23歳 女

僧帽弁狭窄兼閉鎖不全症の患者。



1) 基線が細かく、不規則にゆれているが、これは何か。

心電図診断

心房細動

基線が細かく、不規則にゆれている(f波)。QRS波と1対1に対応するP波はない。

RR間隔は不整で、特別な規則性はない(絶対不整脈)。

解 説

心房細動波(f波)は全誘導で認められるが、とくに右側胸部誘導(V_1)でもっとも大きく、わかりやすい。心房細動でも心不全がなく、心拍数も60~80/分程度で安定しているものは経過観察だけでよい。心不全がある場合にはジギタリス剤、利尿剤などによる、また心不全がなく、かつ心拍数が多い場合にはジギタリス剤、 β ブロッカーなどによる治療の適応となる。